

エコライフ日記



有機ELってエライ。

きょう、うちに新しいテレビがきました。
箱の大きさがランドセルくらいだったので、持ってみたら重さもわたしのランドセルと同じくらいで、テレビじゃないみたいでした。
パパは、「有機ELのテレビだよ。薄くてかっこいいし、画面もとてもキレイなんだ」と言いました。

ママは、「薄くて軽いつてことは、省資源・省エネ、地球に優しいのね。」と言いました。
わたしは、「テレビの薄さに貢献しているのは有機EL材料っていう粉なの。出光もこの粉の研究や製造もしているんだって。」と教えてあげました。
パパは「へえ、意外だなあ」と驚いていました。

さっそくテレビをセットしてみるとサッカーの試合では、走っている選手の動きがはっきりあざやかに映っていました。ママはガーデニング番組のお花の色がすごくきれいだと言っていました。「旅のムービーもきれいに映せそうだね。」とパパも楽しそうでした。

午後、パパとママと出光美術館に行きました。
学芸員さんが「有機ELの試作品照明を使った展示を行っています。やわらかい光がお客様にとっても好評です。また、貴重な作品を色あせさせないので、安心して展示できます。」と教えてくれました。
「有機ELってあちこちで大活躍なんだ」とわたしもパパもママも感心しました。

次の日、友達をうちによんでいっしょに映画を見ました。
みんな「こんなキレイな画面、見たことない。」と言っていました。
わたしは、みんなできれいな画面を楽しみながら地球にもっと優しくできたらすてきな、と思いました。



すごく薄くてびっくり！

※ソニー（株）が2007年12月に発売した有機ELテレビ XEL-1



有機EL材料。



美術館の照明にも使えるんだね。